



(九曜)  
松平(奥平)家



(五三桐)  
松平(結城)家



(梅鉢)  
松平(久松)家



(遠鷹羽)  
阿部家



(巴)  
白河結城家



(直達)  
丹羽家



(源氏車)  
榊原家



(立葵)  
本多家

# 小峰城跡

国指定史跡

## 小峰城の歴史

小峰城は、小峰ヶ岡と呼ばれる丘陵を利用して築城された梯郭式の平山城ていかくしき ひらやまじろいたのが始まりと伝わります。その後、16世紀末の豊臣秀吉による奥羽平定時おううへいぜいじの一部となり、小峰城はその支城となりました。この時期の小峰城は、会津領主とめしました。蒲生秀行の時代には城下の整備も行われたと考えられています。

寛永4年(1627)に初代白河藩主となった丹羽長重は、同6年(1629)から、の押えおしえにふさわしい、石垣を多用した近世城郭に大改修しました。これにあわ

小峰城は丹羽家をはじめ、榊原、本多、松平(奥平)、松平(結城)、松平(久松)、居城となりましたが、慶応2年(1866)阿部家が棚倉へ移された後は別の領主

その後、約120年の時を経て、平成3年(1991)に三重櫓、同6年(1994)にと

同23年(2011)東日本大震災では、石垣が10か所にわたり崩落するなどの

は、江戸時代の伝統工法にもとづいて修復が行われ、同31年(2019)3月に美

で、結城親朝が14世紀中頃に城を築

に結城家は改易され、白河は会津領

の蒲生家や上杉家の城代が城主をつ

約4年の歳月をかけて小峰城を「奥州

せて整備された城下町は、現在の白

阿部と7家21代にわたる白河藩主の

が入らず、幕府や新政府が管理する空

焼失しました。

前御門が絵図や発掘調査の成果をも

定されました。

大きな被害を受けました。崩れた石垣

しい姿へとよみがえりました。



### 帯曲輪

本丸の西側から北側を取り囲むように設けられた長い帯状の曲輪で、江戸時代には2つの門(帯曲輪門、矢之門)と2つの櫓(文庫櫓、矢之門二重櫓)がありました。



### 慶長期の石垣

三重櫓の北面石垣の一部は、積石が不定形であるなどの特徴があり、慶長年間(1596-1615)頃のもので、小峰城跡で最古の石垣と考えられます。



### 本丸御殿跡(CG推定復元)

本丸の平坦地には、藩主の居所と政庁を兼ねていたとされる御本城御殿(本丸御殿)がありました。畳数は707畳とする記録があり、かなりの大きさだったことがうかがえます。



### 三重櫓

三重櫓は、本丸の北東隅に建つ三層三階の櫓で、小峰城のシンボルとなっており、天守の代わりでした。外観は黒塗りの板を張った「下見板張」で、一層目と二層目には「石落し」が設けられています。



### 前御門

本丸の正門として、裏門にあたる桜之門とともに本丸を守る役割を担っていました。構造は、石垣の上に櫓をわたした「櫓門」の形式で、多門櫓と連結されていました。



### 清水門跡

本丸と二之丸をつなぐ重要な門で、櫓門の形式です。小峰城内では、大手門と並び最大規模の門でした。現在、復元に向けて事業が進められています。



### 白河城御櫓絵図(県指定重要文化財)

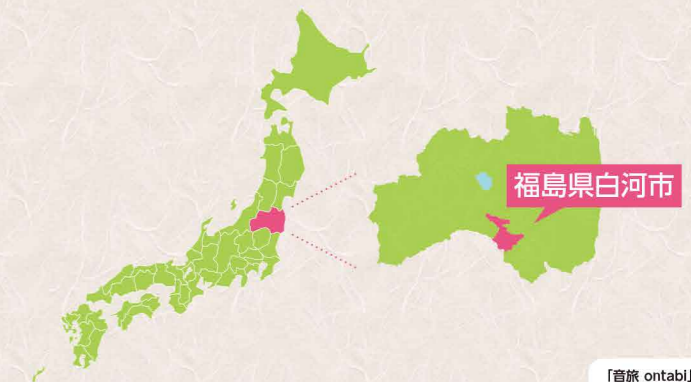
文化5年(1808)に白河藩士の南合義之らが城郭内の建築物を実測し、作成した絵図(全2巻)です。城内の櫓および城門などの平面図と立面図に、間取り・寸法・材料・屋根の勾配などが詳細に記されています。



### 交通アクセス

車: 東北自動車道白河ICから10分  
白河中央スマートIC(ETC専用)から5分  
駐車場: 無料100台(大型駐車場あり)

鉄道: JR東北本線  
白河駅から徒歩5分



### 福島県白河市

### 白河市産業部観光課

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1  
TEL.0248-22-1111 FAX.0248-24-1844  
✉ kanko@city.shirakawa.fukushima.jp

「音旅 ontabi」  
史跡音声ガイド  
歴史やエピソードを  
「聞き」ながら  
歩いてみませんか?



# 小峰城 探索MAP

- 凡例**
- 茶屋
  - 土産
  - トイレ
  - 無料駐車場
  - 100名城スタンプ
  - ビュースポット
  - AED
  - 飲食店
- ※三重櫓の開放時間  
9:00~17:00  
(10月~3月は16:00まで)
- ※清水門・矢之門の開放時間  
8:30~17:30  
(10月~3月は16:30まで)
- ※春秋の土日祝日は、城内にボランティアガイドが常駐しています。お気軽にお声がけください。
- 【問い合わせ先】(公財)白河観光物産協会 TEL.0248-22-1147



**小峰城歴史館**  
小峰城の歴史や歴代城主などを知ることができるガイド施設。3面スクリーンのVRシアターでは、江戸時代の小峰城を体感できるほか、歴代城主に関する貴重な古文書や美術工芸品を展示しています。また、三重櫓・前御門の木造復元や、震災からの石垣修復工事の様子なども紹介しています。



## 旧小峰城太鼓櫓



もとは二之丸の太鼓門西側にあったと考えられ、個人が払い下げを受けて移築されました。小峰城に関わる建造物が失われているなかで、唯一現存する貴重な建造物として、昭和39年(1964)市の重要文化財に指定されています。定期公開時の見学は無料、有料で貸館利用もできます。  
【問い合わせ先】白河市文化財課 TEL.0248-27-2310



東側丘陵地にそびえる壮大な石垣



## 二ノ丸茶屋

小峰城を眺めながら、ここでしか味わえないメニューを楽しめます。白河銘菓や白河だるま、小峰城ならではのお土産選びにも、ぜひお立ち寄りください。



金運アップに効果があるカレー味のカツ(勝つ)と、恋愛運や運気を上げる食材のトマトを、南湖神社で開運祈った焼印を押したパンズでサンド。ひと休みに、縁起物のご当地バーガーはいかが？



## 小峰城 一石城主プロジェクト

清水門の復元に向けた寄付額1,000円を「一石」とみなし、白河藩の最大石高である15万石をめざして、皆さまと一緒に取り組むプロジェクトです。あたたかいご支援をお待ちしています。  
【問い合わせ先】白河市文化財課 TEL.0248-27-2310

## ここに注目!! 小峰城の石垣

- 打込ハギ 乱積み**  
石材は粗く加工され、大きさも不揃い。すき間に間詰石が詰められています。
- 打込ハギ 布積み**  
石材はほぼ同じ大きさで、目地が通っています。丁寧に詰められた間詰石が特徴。
- 切込ハギ 布積み**  
目地が通るよう、規格化された切石をすき間なく積み上げています。
- 落し積み**  
石材を斜めに積んだ石垣。なかには半同心円状に見えるものもあります。